

第3章 くらしの満足度【問7】

1 生活重要度【問7】

身近な生活に関する48項目について、どの程度重要だと感じているかを尋ねた。項目ごとに重要度を「非常に重要である」から「まったく重要ではない」までの5段階で回答してもらった。

なお、回答選択肢は、「非常に重要である」「かなり重要である」「どちらともいえない」「さほど重要でない」「まったく重要ではない」の5区分に「わからない」を加えた6区分とした。

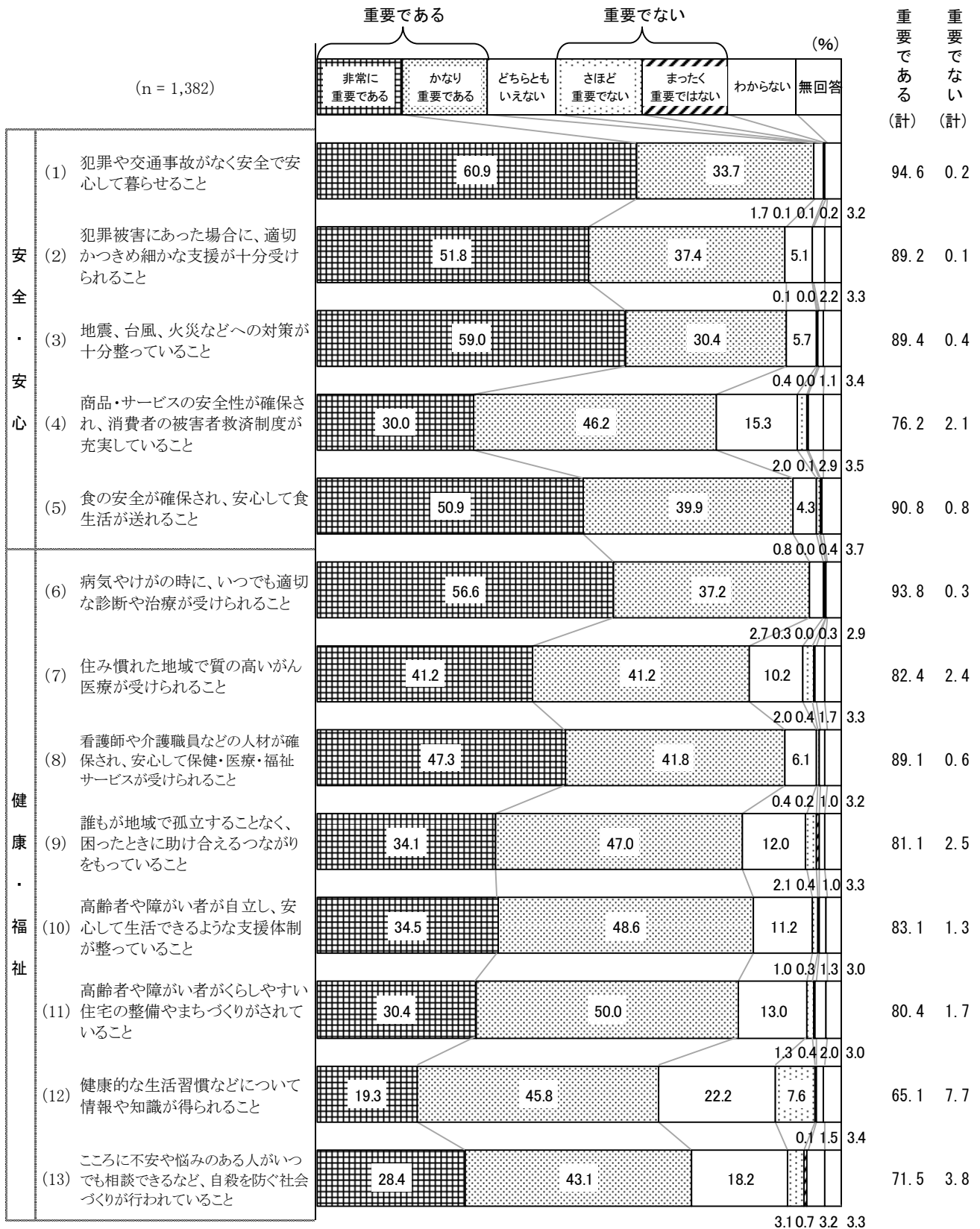
【全体の状況】

項目別の生活重要度の回答状況は、図表3-1-1に示すとおりである。

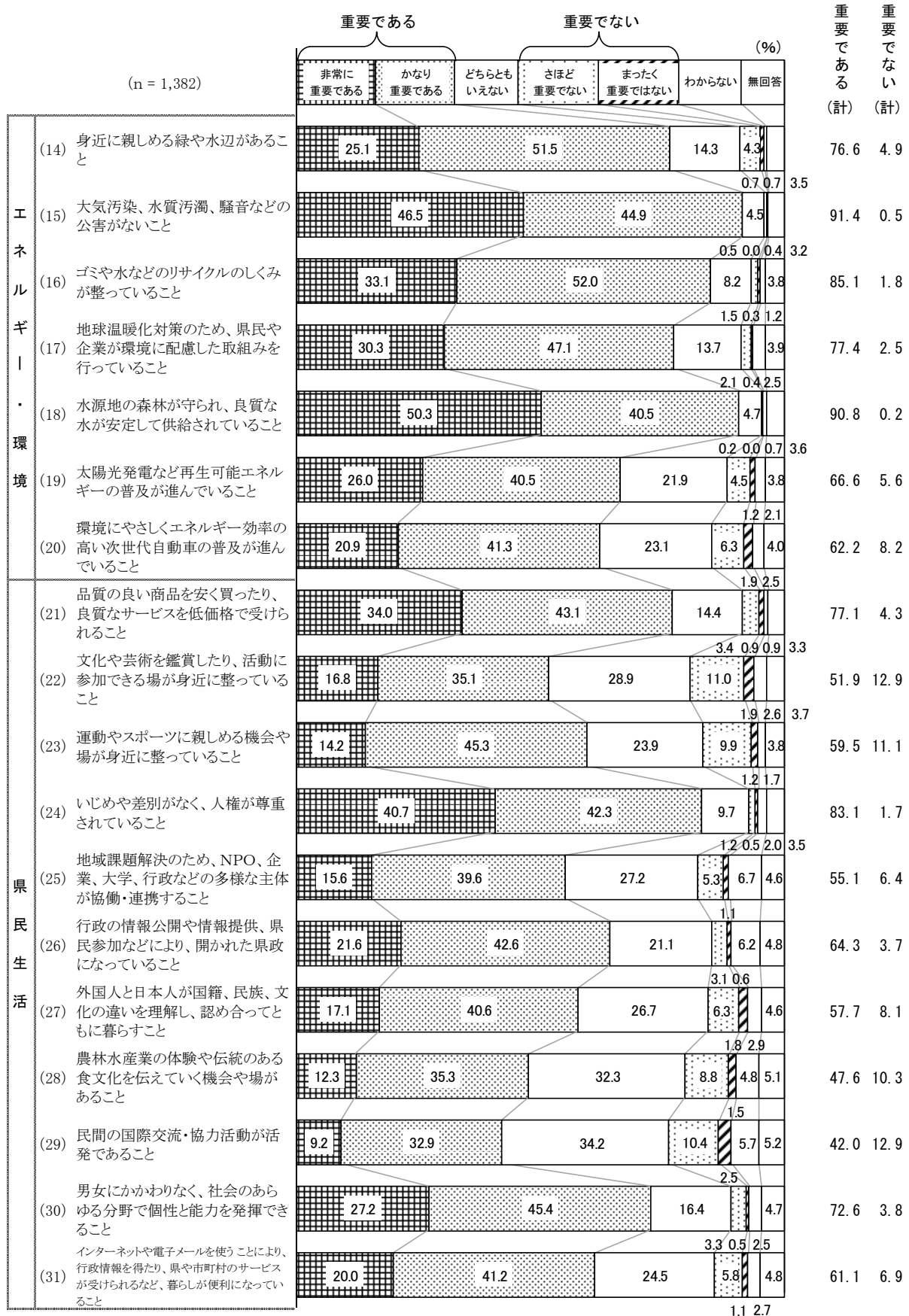
「非常に重要である」と「かなり重要である」を合わせた《重要である》と「さほど重要でない」と「まったく重要ではない」を合わせた《重要でない》を比較すると、すべての項目で《重要である》が《重要でない》を上回った。

《重要である》をみると、「(1) 犯罪や交通事故がなく安全で安心して暮らせること」(94.6%)、「(6) 病気やけがの時に、いつでも適切な診断や治療が受けられること」(93.8%)、「(15) 大気汚染、水質汚濁、騒音などの公害がないこと」(91.4%)、「(5) 食の安全が確保され、安心して食生活を送れること」(90.8%)、「(18) 水源地の森林が守られ、良質な水が安定して供給されていること」(90.8%) がそれぞれ9割を超えて多かった。(図表3-1-1)

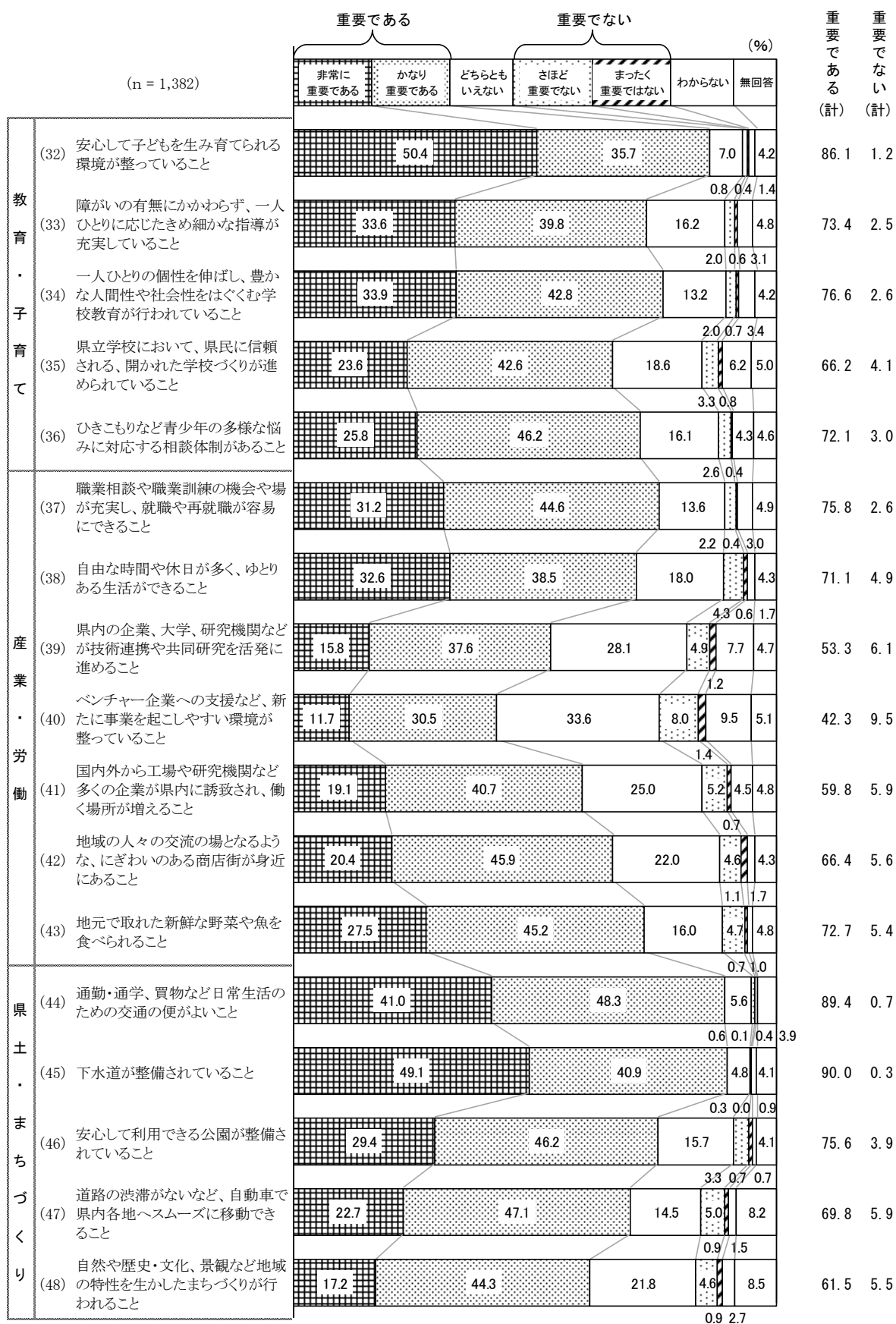
図表3-1-1 生活重要度



図表3-1-1 生活重要度（つづき）



図表3-1-1 生活重要度（つづき）



【過去との比較】

《重要である》の上位10項目について過去4年間の調査と比較すると、平成25年度～平成28年度の調査と同様に、「(1) 犯罪や交通事故がなく安全で安心して暮らせること」と「(6) 病気やけがの時に、いつでも適切な診断や治療が受けられること」の2項目が上位となった。

(図表3-1-2)

図表3-1-2 生活重要度《重要である》の上位10項目－過去との比較

	平成25年度 (n = 1,476)	平成26年度 (n = 1,403)	平成27年度 (n = 1,386)	平成28年度 (n = 1,297)	平成29年度 (n = 1,382)
1位	犯罪や交通事故がなく安全で安心して暮らせること(96.6%)	病気やけがの時に、いつでも適切な診断や治療が受けられること(96.2%)	病気やけがの時に、いつでも適切な診断や治療が受けられること(96.3%)	犯罪や交通事故がなく安全で安心して暮らせること(95.1%)	犯罪や交通事故がなく安全で安心して暮らせること(94.6%)
2位	病気やけがの時に、いつでも適切な診断や治療が受けられること(94.9%)	犯罪や交通事故がなく安全で安心して暮らせること(94.8%)	犯罪や交通事故がなく安全で安心して暮らせること(96.0%)	病気やけがの時に、いつでも適切な診断や治療が受けられること(94.1%)	病気やけがの時に、いつでも適切な診断や治療が受けられること(93.8%)
3位	大気汚染、水質汚濁、騒音などの公害がないこと(92.7%)	大気汚染、水質汚濁、騒音などの公害がないこと(92.4%)	大気汚染、水質汚濁、騒音などの公害がないこと	下水道が整備されていること(91.8%)	大気汚染、水質汚濁、騒音などの公害がないこと(91.4%)
4位	食の安全が確保され、安心して食生活が送れること(92.4%)	食の安全が確保され、安心して食生活が送れること(91.6%)	水源地の森林が守られ、良質な水が安定して供給されていること(92.6%)	食の安全が確保され、安心して食生活が送れること(90.8%)	食の安全が確保され、安心して食生活が送れること
5位	水源地の森林が守られ、良質な水が安定して供給されていること(92.1%)	水源地の森林が守られ、良質な水が安定して供給されていること(91.3%)	食の安全が確保され、安心して食生活が送れること	大気汚染、水質汚濁、騒音などの公害がないこと	水源地の森林が守られ、良質な水が安定して供給されていること(90.8%)
6位	犯罪被害にあった場合に、適切かつきめ細かな支援が十分受けられること(91.5%)	下水道が整備されていること(90.9%)	下水道が整備されていること(91.1%)	水源地の森林が守られ、良質な水が安定して供給されていること(90.2%)	下水道が整備されていること(90.0%)
7位	下水道が整備されていること(91.0%)	地震、台風、火災などへの対策が十分整っていること(90.2%)	犯罪被害にあった場合に、適切かつきめ細かな支援が十分受けられること(90.7%)	地震、台風、火災などへの対策が十分整っていること(89.9%)	地震、台風、火災などへの対策が十分整っていること
8位	地震、台風、火災などへの対策が十分整っていること(90.9%)	看護師や介護職員などの人材が確保され、安心して保健・医療・福祉サービスが受けられること(89.7%)	地震、台風、火災などへの対策が十分整っていること(90.3%)	通勤・通学、買物など日常生活のための交通の便がよいこと(89.5%)	通勤・通学、買物など日常生活のための交通の便がよいこと(89.4%)
9位	通勤・通学、買物など日常生活のための交通の便がよいこと(90.2%)	犯罪被害にあった場合に、適切かつきめ細かな支援が十分受けられること(89.0%)	看護師や介護職員などの人材が確保され、安心して保健・医療・福祉サービスが受けられること(90.0%)	犯罪被害にあった場合に、適切かつきめ細かな支援が十分受けられること(89.2%)	犯罪被害にあった場合に、適切かつきめ細かな支援が十分受けられること(89.2%)
10位	看護師や介護職員などの人材が確保され、安心して保健・医療・福祉サービスが受けられること(89.2%)	通勤・通学、買物など日常生活のための交通の便がよいこと(88.9%)	通勤・通学、買物など日常生活のための交通の便がよいこと(89.5%)	看護師や介護職員などの人材が確保され、安心して保健・医療・福祉サービスが受けられること(87.8%)	看護師や介護職員などの人材が確保され、安心して保健・医療・福祉サービスが受けられること(89.1%)

※各項目の過去との比較については、図表A（133～144ページ）を参照

【地域別の状況】

《重要である》の上位5項目について地域別にみると、県全体で《重要である》の第1位となった「(1) 犯罪や交通事故がなく安全で安心して暮らせること」は、横須賀三浦 (98.1%)、相模原 (96.5%)、横浜 (95.6%)、県央 (94.5%)、湘南 (94.0%) の5地域で同率も含めて第1位となった。県全体で第2位となった「(6) 病気やけがの時に、いつでも適切な診断や治療が受けられること」は、川崎 (95.4%)、県央 (94.5%) で同率も含めて第1位となった。県全体で第4位の「(18) 水資源の森林が守られ、良質な水が安定して供給されていること」は、県西 (94.3%) で第1位となった。(図表3-1-3)

図表3-1-3 生活重要度《重要である》の上位5項目－地域別

(番号)	(1)	(6)	(15)	(5)	(18)	(45)	(3)	(44)	(2)	(8)
設問	し犯罪や交通事故がなく安全で安心して暮らせること	な病診断やけがの治療が受けられること	公大害が汚染、水質汚濁、騒音などの公害がないこと	生食の安全が確保され、安心して食生活を送れること	が水源の森林が守られ、良質な水が安定して供給されていること	下水道が整備されていること	十分震、台風、火災などへの対策が	た通勤・交通の便がよいこと	るつきめ被害にあつた場合、適切な支援が受けられること	祉保サレ、安介心職員の健康・人材が確保されること
地域										
上段：順位 下段：(%)										
全体 (n=1,382)	① 94.6	② 93.8	③ 91.4	④ 90.8	④ 90.8	⑥ 90.0	⑦ 89.4	⑦ 89.4	⑨ 89.2	⑩ 89.1
横浜 (n= 496)	① 95.6	② 93.5			⑤ 90.7	③ 92.5		④ 91.5		
川崎 (n= 196)	② 94.9	① 95.4	⑤ 91.3	③ 91.8			③ 91.8			
相模原 (n= 113)	① 96.5	④ 94.7	② 95.6	④ 94.7			② 95.6			
横須賀三浦 (n= 105)	① 98.1	② 95.2	② 95.2	④ 92.4			⑤ 91.4	⑤ 91.4		
県央 (n= 128)	① 94.5	① 94.5	④ 93.0		⑤ 91.4					③ 93.8
湘南 (n= 201)	① 94.0	③ 93.5	③ 93.5	① 94.0	⑤ 93.0					
県西 (n= 53)	④ 88.7	② 92.5	③ 90.6	④ 88.7	① 94.3		④ 88.7			

※各項目の地域別の状況については、図表B (145～156ページ) を参照

【性・年代別の状況】

《重要である》の上位5項目について性・年代別にみると、サンプル数の少ない男女の18～19歳を除くと、県全体で《重要である》の第1位となった「(1) 犯罪や交通事故がなく安全で安心して暮らせること」は、男性の20歳代から60歳代 (95.0%～100.0%)、及び、女性の20歳代 (100.0%)・40歳代 (96.5%)・50歳代 (95.9%)・70～74歳 (93.5%)・75歳以上 (87.7%) で同率も含めて第1位となった。県全体で第2位の「(6) 病気やけがの時に、いつでも適切な診断や治療が受けられること」は、男性の20歳代 (100.0%)・40歳代 (96.4%)・75歳以上 (93.1%) と女性の20歳代 (100.0%)・30歳代 (98.4%)・60歳代 (96.6%)・70～74歳 (93.5%) で同率も含めて第1位となった。県全体で第4位の「(5) 食の安全が確保され、安心して食生活が送れること」は、女性の75歳以上 (87.7%) で第1位となり、同率第4位の「(18) 水源地の森林が守られ、良質な水が安定して供給されていること」は男女の70～74歳 (男性95.8%、女性93.5%) で第1位となった。(図表3-1-4)

図表3-1-4 生活重要度《重要である》の上位5項目－性・年代別

(番号) 設問	(1)	(6)	(15)	(5)	(18)	(45)	(3)	(44)	(2)	(8)	(32)	(16)	(7)	(38)
	して犯罪や交通事故がなく安全で安心して暮らせること	な病気やけがの時に、いつでも適切な診断や治療が受けられること	公害がないこと	食の安全が確保され、安心して食生活を送れること	水源地の森林が守られ、良質な水が安定して供給されていること	下水道が整備されていること	地震、台風、火災などへの対策が十分整っていること	通勤・通学、買物など日常生活のための交通の便がよいこと	犯罪被害にあつた場合に、適切なつきめ細かな支援が十分受けられること	看護師や介護職員などの人材が確保され、安心して保健・医療・福祉サービスが受けられること	環境が整っていること	ゴミや水などのリサイクルの仕組みが整っていること	住み慣れた地域で質の高いがん医療が受けられること	自由な時間や休日が多く、ゆとりある生活ができること
地域 上段：順位 下段：(%)														
全体 (n=1,382)	① 94.6	② 93.8	③ 91.4	④ 90.8	④ 90.8	⑥ 90.0	⑦ 89.4	⑦ 89.4	⑨ 89.2	⑩ 89.1	⑪ 86.1	⑫ 85.1	⑮ 82.4	⑳ 71.1
男性 (n=578)	① 95.0	② 92.9	③ 91.2	④ 90.5	④ 90.5				⑤ 89.8					
女性 (n=712)	① 95.4	② 95.1	③ 92.8	⑤ 92.7	⑤ 92.3									
男性18～19歳 (n=3)	① 100.0	① 100.0	① 100.0	① 100.0	① 100.0	① 100.0	① 100.0	① 100.0	① 100.0	① 100.0	① 100.0	① 100.0		
20歳代 (n=33)	① 100.0	① 100.0				③ 97.0	③ 97.0	③ 97.0	③ 97.0		③ 97.0			
30歳代 (n=80)	① 96.3		② 93.8	⑤ 92.5			② 93.8	② 93.8						
40歳代 (n=110)	① 96.4	① 96.4	④ 92.7		④ 92.7			④ 92.7	③ 94.5		④ 92.7			
50歳代 (n=125)	① 95.2	③ 90.4	② 92.8	④ 88.8		④ 88.8								
60歳代 (n=121)	① 95.0	③ 92.6				② 94.2			④ 91.7	④ 91.7				
70～74歳 (n=48)	② 91.7	② 91.7	④ 89.6	④ 89.6	① 95.8									
75歳以上 (n=58)	② 89.7	① 93.1	④ 86.2		④ 86.2					④ 86.2		③ 87.9	④ 86.2	
女性18～19歳 (n=2)	① 100.0	① 100.0	① 100.0	① 100.0	① 100.0	① 100.0	① 100.0	① 100.0		① 100.0	① 100.0	① 100.0		
20歳代 (n=55)	① 100.0	① 100.0		③ 98.2			④ 96.4	④ 96.4						④ 96.4
30歳代 (n=125)	② 97.6	① 98.4	③ 96.0			④ 95.2		⑤ 94.4		⑤ 94.4				
40歳代 (n=202)	① 96.5	④ 95.0	② 95.5	④ 95.0	② 95.5		④ 95.0							
50歳代 (n=98)	① 95.9	④ 93.9				② 94.9		② 94.9		⑤ 92.9				
60歳代 (n=116)	② 93.1	① 96.6	③ 92.2	③ 92.2						⑤ 91.4			⑤ 91.4	
70～74歳 (n=46)	① 93.5	① 93.5	① 93.5		① 93.5	① 93.5								
75歳以上 (n=65)	① 87.7	③ 84.6	④ 83.1	① 87.7		④ 83.1								

※各項目の性・年代別の状況については、図表B (145～156ページ) を参照

2 生活満足度【問7】

「生活重要度」で尋ねた項目と同じ48項目について、どの程度満たされていると感じているかを尋ねた。項目ごとに「十分満たされている」から「ほとんど満たされていない」まで5段階で回答してもらった。

なお、回答選択肢は「十分満たされている」「かなり満たされている」「どちらともいえない」「あまり満たされていない」「ほとんど満たされていない」の5区分に「わからない」を加えた6区分とした。

【全体の状況】

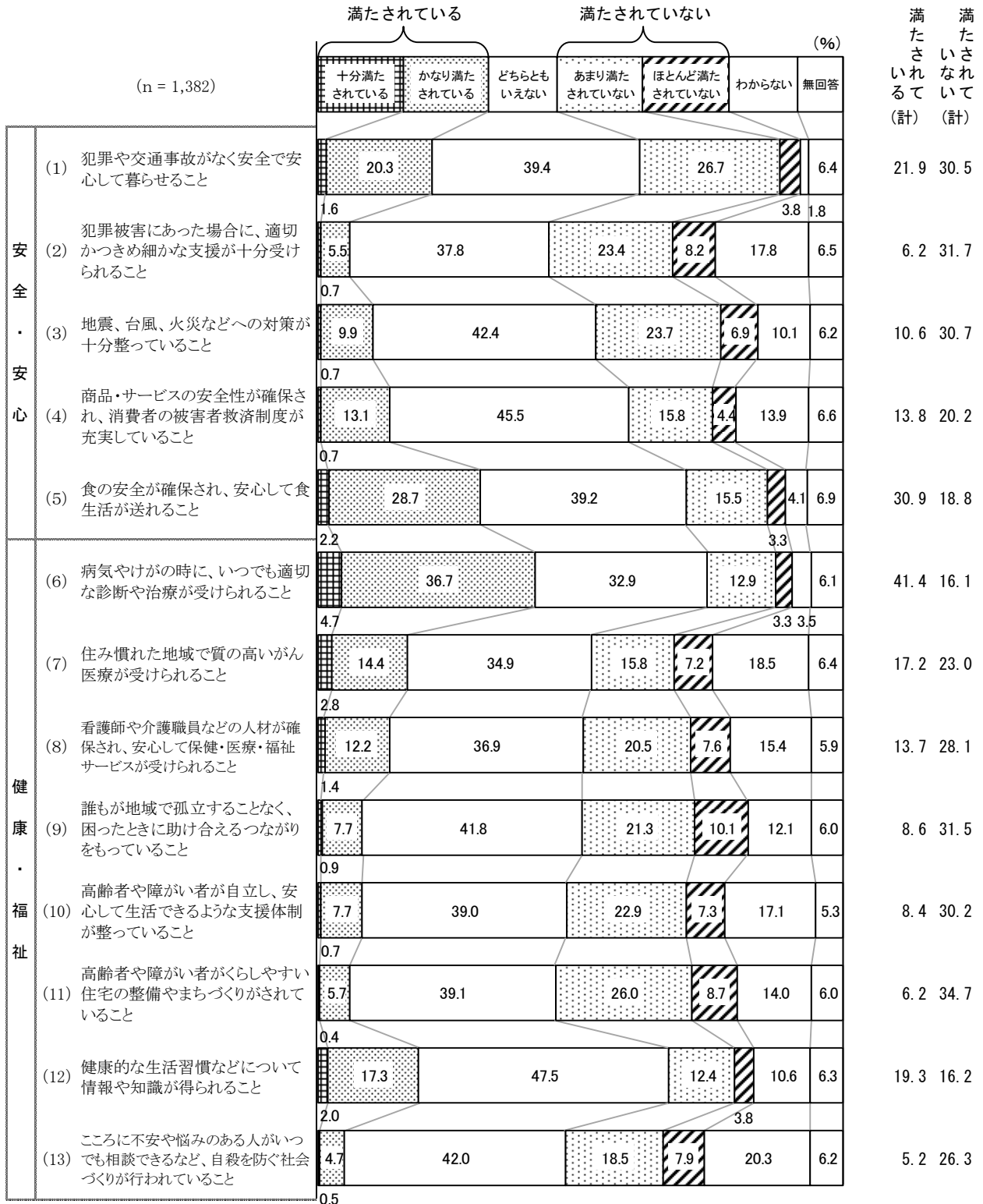
項目別の生活満足度の回答状況は、図表3-2-1に示すとおりである。

「十分満たされている」と「かなり満たされている」を合わせた《満たされている》は、「(45) 下水道が整備されていること」(65.4%)が6割台で最も多く、「(44) 通勤・通学、買物など日常生活のための交通の便がよいこと」(44.9%)と「(14) 身近に親しめる緑や水辺があること」(44.1%)が4割台で続いた。

「あまり満たされていない」と「ほとんど満たされていない」を合わせた《満たされていない》は、「(42) 地域の人々の交流の場となるような、にぎわいのある商店街が身近にあること」(40.9%)が約4割で最も多く、「(38) 自由な時間や休日が多く、ゆとりある生活ができること」(35.0%)、「(11) 高齢者や障がい者がくらしやすい住宅の整備やまちづくりがされていること」(34.7%)、「(32) 安心して子どもを産み育てられる環境が整っていること」(33.9%)がそれぞれ3割台で続いた。

(図表3-2-1)

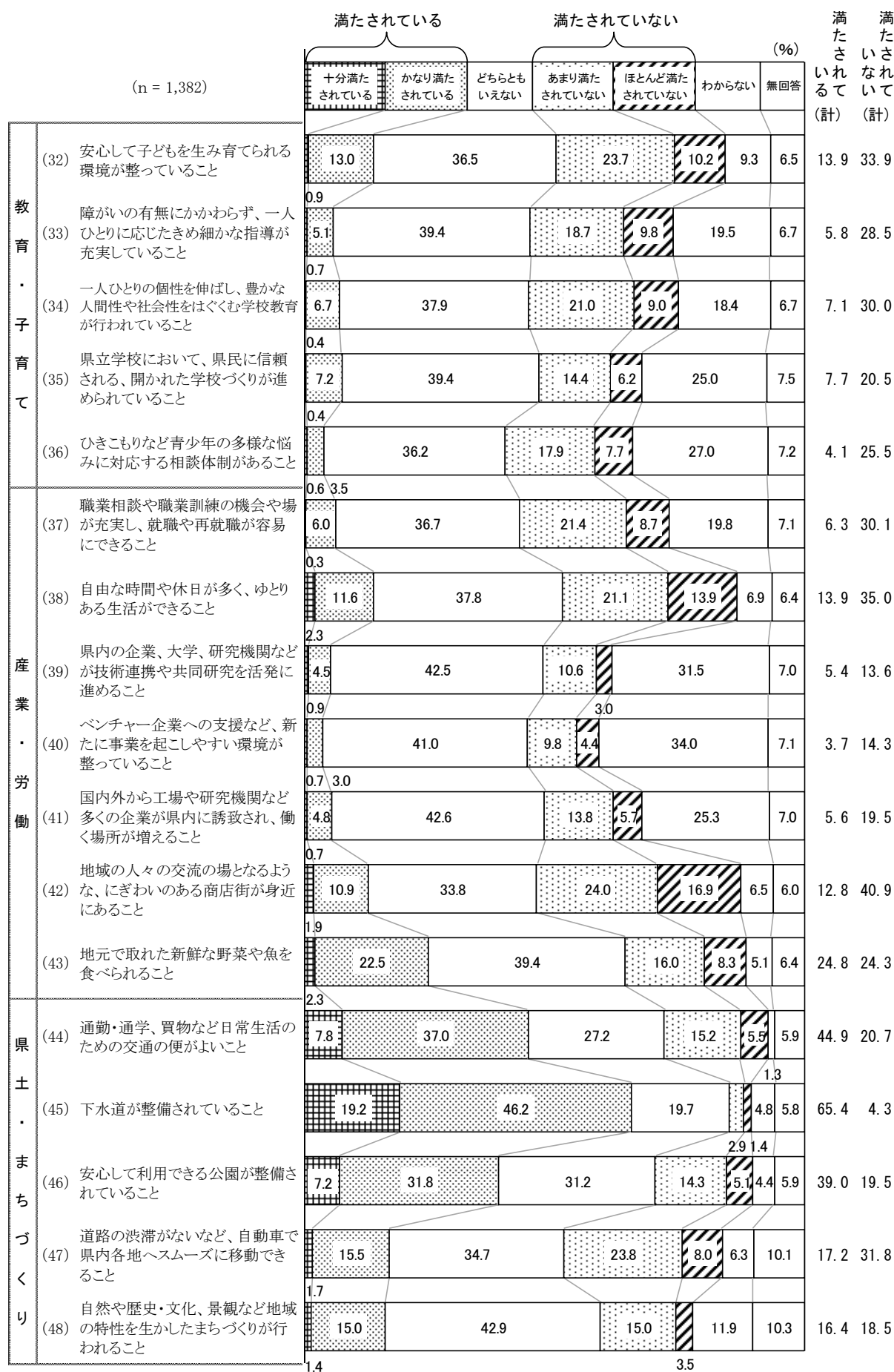
図表3-2-1 生活満足度



図表3-2-1 生活満足度（つづき）

	(n = 1,382)	満足されている							満たされていない			満足されている (計)	満たされていない (計)	
		十分満たされている		かなり満たされている		どちらともいえない		あまり満たされていない		ほとんど満たされていない	わからない			無回答
		(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)			
エネルギー・環境	(14) 身近に親しめる緑や水辺があること	6.4	37.6		30.0		13.5	4.3	5.6			44.1	17.8	
	(15) 大気汚染、水質汚濁、騒音などの公害がないこと	24.0		36.3		18.8	7.3	4.0	6.2	2.5		27.4	26.1	
	(16) ゴミや水などのリサイクルのしくみが整っていること	4.8	34.4		36.1		9.3	6.7	5.9			39.2	12.0	
	(17) 地球温暖化対策のため、県民や企業が環境に配慮した取組みを行っていること	11.1		44.0		14.7	4.6	18.2	6.2	2.7		12.2	19.3	
	(18) 水源地の森林が守られ、良質な水が安定して供給されていること	5.0	37.2		31.5		7.2	11.3	5.6			42.2	9.3	
	(19) 太陽光発電など再生可能エネルギーの普及が進んでいること	5.6		42.2		16.6	10.2	18.4	5.9	2.2		6.7	26.8	
県民生活	(20) 環境にやさしくエネルギー効率の高い次世代自動車の普及が進んでいること	9.0		39.6		17.1	11.1	16.2	5.9	1.2		10.2	28.1	
	(21) 品質の良い商品を安く買ったり、良質なサービスを低価格で受けられること	15.7		45.0		19.8	7.2	5.0	5.6	1.2		17.4	27.1	
	(22) 文化や芸術を鑑賞したり、活動に参加できる場が身近に整っていること	17.4		43.7		14.5	5.7	11.1	5.4	1.7		19.5	20.3	
	(23) 運動やスポーツに親しめる機会や場が身近に整っていること	25.7		38.1		15.7	4.9	6.9	5.9	2.1		28.4	20.6	
	(24) いじめや差別がなく、人権が尊重されていること	9.0		43.5		19.5	7.9	12.9	6.0	2.7		10.3	27.4	
	(25) 地域課題解決のため、NPO、企業、大学、行政などの多様な主体が協働・連携すること	4.3		45.9		11.6	4.8	26.2	6.7	1.3		4.9	16.4	
	(26) 行政の情報公開や情報提供、県民参加などにより、開かれた県政になっていること	6.4		43.6		16.1	6.1	20.1	6.7	0.6		7.5	22.2	
	(27) 外国人と日本人が国籍、民族、文化の違いを理解し、認め合っともに暮らすこと	6.6		49.1		13.9	5.6	17.7	6.3	1.0		7.3	19.5	
	(28) 農林水産業の体験や伝統のある食文化を伝えていく機会や場があること	5.2		45.2		15.2	6.5	20.3	6.9	0.7		5.9	21.7	
	(29) 民間の国際交流・協力活動が発達であること	5.4		45.7		12.2	4.1	24.7	7.2	0.7		6.2	16.2	
	(30) 男女にかかわらず、社会のあらゆる分野で個性と能力を発揮できること	6.8		43.8		20.9	7.5	13.2	6.9	0.9		7.7	28.4	
	(31) インターネットや電子メールを使うことにより、行政情報を得たり、県や市町村のサービスが受けられるなど、暮らしが便利になっていること	20.7		42.5		11.9	5.9	10.6	6.5	0.9		22.6	17.8	

図表3-2-1 生活満足度（つづき）



【過去との比較】

《満たされている》の上位10項目について過去4年間の調査と比較すると、平成25年度～平成28年度の調査と同様に、「(45) 下水道が整備されていること」が第1位、「(44) 通勤・通学、買物など日常生活のための交通の便がよいこと」が第2位、「(14) 身近に親しめる緑や水辺があること」が第3位となった。(図表3-2-2)

図表3-2-2 生活満足度《満たされている》の上位10項目－過去との比較

	平成25年度 (n = 1,476)	平成26年度 (n = 1,403)	平成27年度 (n = 1,386)	平成28年度 (n = 1,297)	平成29年度 (n = 1,382)
1位	下水道が整備されていること(65.4%)	下水道が整備されていること(66.1%)	下水道が整備されていること(69.7%)	下水道が整備されていること(68.5%)	下水道が整備されていること(65.4%)
2位	通勤・通学、買物など日常生活のための交通の便がよいこと(50.9%)	通勤・通学、買物など日常生活のための交通の便がよいこと(48.1%)	通勤・通学、買物など日常生活のための交通の便がよいこと(50.6%)	通勤・通学、買物など日常生活のための交通の便がよいこと(51.0%)	通勤・通学、買物など日常生活のための交通の便がよいこと(44.9%)
3位	身近に親しめる緑や水辺があること(46.2%)	身近に親しめる緑や水辺があること(47.5%)	身近に親しめる緑や水辺があること(46.8%)	身近に親しめる緑や水辺があること(47.3%)	身近に親しめる緑や水辺があること(44.1%)
4位	病気やけがの時に、いつでも適切な診断や治療が受けられること(41.9%)	病気やけがの時に、いつでも適切な診断や治療が受けられること(45.3%)	ゴミや水などのリサイクルのしくみが整っていること(44.2%)	水源地の森林が守られ、良質な水が安定して供給されていること(44.3%)	水源地の森林が守られ、良質な水が安定して供給されていること(42.2%)
5位	安心して利用できる公園が整備されていること(38.4%)	ゴミや水などのリサイクルのしくみが整っていること(43.7%)	病気やけがの時に、いつでも適切な診断や治療が受けられること(44.0%)	病気やけがの時に、いつでも適切な診断や治療が受けられること(44.1%)	病気やけがの時に、いつでも適切な診断や治療が受けられること(41.4%)
6位	ゴミや水などのリサイクルのしくみが整っていること	水源地の森林が守られ、良質な水が安定して供給されていること(42.1%)	安心して利用できる公園が整備されていること(41.1%)	安心して利用できる公園が整備されていること(43.4%)	ゴミや水などのリサイクルのしくみが整っていること(39.2%)
7位	水源地の森林が守られ、良質な水が安定して供給されていること(36.2%)	安心して利用できる公園が整備されていること(41.6%)	水源地の森林が守られ、良質な水が安定して供給されていること(40.2%)	ゴミや水などのリサイクルのしくみが整っていること(41.6%)	安心して利用できる公園が整備されていること(39.0%)
8位	大気汚染、水質汚濁、騒音などの公害がないこと(26.6%)	大気汚染、水質汚濁、騒音などの公害がないこと(32.6%)	大気汚染、水質汚濁、騒音などの公害がないこと(30.4%)	食の安全が確保され、安心して食生活が送れること(34.2%)	食の安全が確保され、安心して食生活が送れること(30.9%)
9位	食の安全が確保され、安心して食生活が送れること(25.9%)	運動やスポーツに親しめる機会や場が身近に整っていること(26.8%)	運動やスポーツに親しめる機会や場が身近に整っていること(27.1%)	大気汚染、水質汚濁、騒音などの公害がないこと(31.3%)	運動やスポーツに親しめる機会や場が身近に整っていること(28.4%)
10位	運動やスポーツに親しめる機会や場が身近に整っていること(24.7%)	食の安全が確保され、安心して食生活が送れること(25.3%)	食の安全が確保され、安心して食生活が送れること(26.9%)	地元で取れた新鮮な野菜や魚を食べられること(27.0%)	大気汚染、水質汚濁、騒音などの公害がないこと(27.4%)

※各項目の過去との比較については、図表C (157～168ページ) を参照

《満たされていない》の上位10項目について過去4年間の調査と比較すると、平成25年度～平成28年度の調査と同様に、「(42) 地域の人々の交流の場となるような、にぎわいのある商店街が身近にあること」が第1位となった。「(38) 自由な時間や休日が多く、ゆとりある生活ができること」は前回調査の第3位から第2位に、(11) 高齢者や障がい者がくらしやすい住宅の整備やまちづくりがされていること」は前回調査の第2位から第3位となった。(図表3-2-3)

図表3-2-3 生活満足度《満たされていない》の上位10項目－過去との比較

	平成25年度 (n = 1,476)	平成26年度 (n = 1,403)	平成27年度 (n = 1,386)	平成28年度 (n = 1,297)	平成29年度 (n = 1,382)
1位	地域の人々の交流の場となるような、にぎわいのある商店街が身近にあること(44.9%)	地域の人々の交流の場となるような、にぎわいのある商店街が身近にあること(40.7%)	地域の人々の交流の場となるような、にぎわいのある商店街が身近にあること(43.6%)	地域の人々の交流の場となるような、にぎわいのある商店街が身近にあること(41.9%)	地域の人々の交流の場となるような、にぎわいのある商店街が身近にあること(40.9%)
2位	職業相談や職業訓練の機会や場が充実し、就職や再就職が容易にできること(37.9%)	環境にやさしくエネルギー効率の高い、電気自動車などの次世代自動車の普及が進んでいること(36.8%)	高齢者や障がい者がくらしやすい住宅の整備やまちづくりがされていること(38.8%)	高齢者や障がい者がくらしやすい住宅の整備やまちづくりがされていること(33.5%)	自由な時間や休日が多く、ゆとりある生活ができること(35.0%)
3位	自由な時間や休日が多く、ゆとりある生活ができること(36.9%)	自由な時間や休日が多く、ゆとりある生活ができること(34.9%)	安心して子どもを生育てられる環境が整っていること(37.1%)	自由な時間や休日が多く、ゆとりある生活ができること(32.8%)	高齢者や障がい者がくらしやすい住宅の整備やまちづくりがされていること(34.7%)
4位	高齢者や障がい者がくらしやすい住宅の整備やまちづくりがされていること	職業相談や職業訓練の機会や場が充実し、就職や再就職が容易にできること(33.0%)	自由な時間や休日が多く、ゆとりある生活ができること(36.4%)	安心して子どもを生育てられる環境が整っていること(32.3%)	安心して子どもを生育てられる環境が整っていること(33.9%)
5位	環境にやさしくエネルギー効率の高い、電気自動車などの次世代自動車の普及が進んでいること(36.2%)	道路の渋滞がないなど、自動車で県内各地へスムーズに移動できること(32.9%)	犯罪被害にあった場合に、適切かつきめ細かな支援が十分受けられること(34.6%)	道路の渋滞がないなど、自動車で県内各地へスムーズに移動できること(31.5%)	道路の渋滞がないなど、自動車で県内各地へスムーズに移動できること(31.8%)
6位	太陽光発電など再生可能エネルギーの普及が進んでいること(36.0%)	高齢者や障がい者がくらしやすい住宅の整備やまちづくりがされていること(32.4%)	誰もが地域で孤立することなく、困ったときに助け合えるつながりをもって(34.5%)	職業相談や職業訓練の機会や場が充実し、就職や再就職が容易にできること(31.3%)	犯罪被害にあった場合に、適切かつきめ細かな支援が十分受けられること(31.7%)
7位	道路の渋滞がないなど、自動車で県内各地へスムーズに移動できること(33.9%)	品質の良い商品を安く買ったり、良質なサービスを低価格で受けられること(31.6%)	職業相談や職業訓練の機会や場が充実し、就職や再就職が容易にできること(34.1%)	高齢者や障がい者が自立し、安心して生活できるような支援体制が整っていること(30.0%)	誰もが地域で孤立することなく、困ったときに助け合えるつながりをもって(31.5%)
8位	犯罪被害にあった場合に、適切かつきめ細かな支援が十分受けられること(32.5%)	高齢者や障がい者が自立し、安心して生活できるような支援体制が整っていること(31.3%)	高齢者や障がい者が自立し、安心して生活できるような支援体制が整っていること	地震、台風、火災などへの対策が十分整っていること(30.0%)	地震、台風、火災などへの対策が十分整っていること(30.7%)
9位	高齢者や障がい者が自立し、安心して生活できるような支援体制が整っていること 安心して子どもを生育てられる環境が整っていること	犯罪被害にあった場合に、適切かつきめ細かな支援が十分受けられること(31.2%)	道路の渋滞がないなど、自動車で県内各地へスムーズに移動できること(32.9%)	犯罪被害にあった場合に、適切かつきめ細かな支援が十分受けられること(29.5%)	犯罪や交通事故がなく安全で安心して暮らせること(30.5%)
10位	一人ひとりの個性を伸ばし、豊かな人間性や社会性をはぐくむ学校教育が行われていること(32.0%)	太陽光発電など再生可能エネルギーの普及が進んでいること(31.1%)	犯罪や交通事故がなく安全で安心して暮らせること 男女にかかわらず、社会のあらゆる分野で個性と能力を発揮できること(32.8%)	男女にかかわらず、社会のあらゆる分野で個性と能力を発揮できること(29.2%)	高齢者や障がい者が自立し、安心して生活できるような支援体制が整っていること(30.2%)

※各項目の過去との比較については、図表C (157～168ページ) を参照

【地域別の状況】

《満たされている》の上位5項目について地域別にみると、県全体で《満たされている》の第1位となった「(45) 下水道が整備されていること」は、県西を除く6地域（64.1%～69.0%）で第1位となった。県西では、県全体で第3位の「(14) 身近に親しめる緑や水辺があること」（50.9%）と県全体で第4位の「(18) 水源地の森林が守られ、良質な水が安定して供給されていること」（50.9%）が同率で第1位となった。（図表3-2-4）

図表3-2-4 生活満足度《満たされている》の上位5項目－地域別

(番号) 設問 地域 上段：順位 下段：(%)	(45)	(44)	(14)	(18)	(6)	(16)	(46)
	こ下 と水 道が 整備 され てい る	が常 よ生 い活 この とた と	が身 あ近 るに こ親 とし め	さ良 れ質 てな い水 が森 こと と	受水 けも ら適 れる 切な が診 こと と	で病 気や けな がの 断時 やに 、治 療い がつ	こル との しや く水 みな がど の整 つり てサ イイ ク
全体 (n=1,382)	① 65.4	② 44.9	③ 44.1	④ 42.2	⑤ 41.4	⑥ 39.2	⑦ 39.0
横浜 (n= 496)	① 68.1	② 52.4		⑤ 41.3	③ 46.2		④ 42.1
川崎 (n= 196)	① 65.8	② 45.9		③ 40.3	④ 39.8	⑤ 39.3	
相模原 (n= 113)	① 69.0		② 51.3	④ 45.1	⑤ 43.4		③ 47.8
横須賀三浦 (n= 105)	① 65.7	⑤ 38.1	② 51.4	③ 45.7		④ 39.0	⑤ 38.1
県央 (n= 128)	① 64.1		② 43.8	③ 42.2		④ 39.1	④ 39.1
湘南 (n= 201)	① 64.2	③ 42.8	② 52.7	⑤ 40.3		④ 41.3	
県西 (n= 53)	③ 43.4	④ 41.5	① 50.9	① 50.9	⑤ 35.8		

※各項目の地域別の状況については、図表D（169～180ページ）を参照

《満たされていない》の上位5項目について地域別にみると、県全体で《満たされていない》の第1位となった「(42) 地域の人々の交流の場となるような、にぎわいのある商店街が身近にあること」は、全7地域で第1位となった。(図表3-2-5)

図表3-2-5 生活満足度《満たされていない》の上位5項目—地域別

(番号) 設問	(42)	(38)	(11)	(32)	(47)	(2)	(9)	(3)	(1)	(34)	(33)	(20)	(15)	(43)
	とにぎわいの人々の交流の場となるような、商店街が身近にあること	自由な時間や休日が多く、ゆとりある生活ができること	高齢者や障がい者がくらしやすい住宅の整備やまちづくりがされていること	安心して子どもを育てられる環境が整っていること	道路の渋滞がないなど、自動車で県内各地へスムーズに移動できること	犯罪被害にあつた場合に、適切かつきめ細かな支援が十分受けられること	いたどきに助け合えるつながりをもつて誰かが地域で孤立することなく、困ったときに助け合えるつながりをもつて	地震、台風、火災などへの対策が十分整っていること	犯罪や交通事故がなく安全で安心して暮らせること	一人ひとりの個性を伸ばし、豊かな人間性や社会性をはぐくむ学校教育が行われていること	障がいの有無にかかわらず、一人ひとりに応じたきめ細かな指導が充実していること	環境にやさしくエネルギー効率の高い次世代自動車の普及が進んでいること	大気汚染、水質汚濁、騒音などの公害がないこと	地元で取れた新鮮な野菜や魚を食べられること
全 体 (n=1,382)	① 40.9	② 35.0	③ 34.7	④ 33.9	⑤ 31.8	⑥ 31.7	⑦ 31.5	⑧ 30.7	⑨ 30.5	⑫ 30.0	⑬ 28.5	⑮ 28.1	⑳ 26.1	㉓ 24.3
横 浜 (n= 496)	① 36.1	② 34.7	③ 33.7	④ 32.9						⑤ 31.7				
川 崎 (n= 196)	① 35.7	⑤ 30.6	② 33.2					③ 31.1					⑤ 30.6	③ 31.1
相模原 (n= 113)	① 49.6	② 38.9	③ 37.2	④ 36.3	⑤ 33.6	⑤ 33.6					⑤ 33.6			
横須賀三浦 (n= 105)	① 50.5	③ 41.0	③ 41.0		② 46.7			③ 41.0						
県 央 (n= 128)	① 42.2	⑤ 35.9		② 38.3	③ 37.5				④ 36.7				⑤ 35.9	
湘 南 (n= 201)	① 43.8	② 39.3		⑤ 34.8	④ 37.3	⑤ 34.8	③ 38.8							
県 西 (n= 53)	① 45.3		⑤ 37.7		② 39.6			② 39.6	⑤ 37.7			② 39.6		

※各項目の地域別の状況については、図表D（169～180ページ）を参照

【性・年代別の状況】

《満たされている》の上位5項目について性・年代別にみると、サンプル数の少ない男女の18～19歳を除くと、県全体で《満たされている》の第1位となった「(45) 下水道が整備されていること」は、全ての性・年代で第1位となった。(図表3-2-6)

図表3-2-6 生活満足度《満たされている》の上位5項目－性・年代別

(番号) 設問	(45)	(44)	(14)	(18)	(6)	(16)	(46)	(5)	(23)	(15)	(1)					
	る下 水道 が 整 備 さ れ て い	の日 通 勤 が 生 活 の こ と め の 交 通	通 勤 が あ る こ と め る 緑 や 水	辺 身 が 近 い こ と め る 緑 や 水	てれ、 水 源 が 良 質 な 森 林 が 守 ら れ て い る こ と	療 が 受 け ら れ る こ と め る 診 断 や 治 い	い ク ル ミ の こ と め る こ と	と 園 安 心 が 整 備 さ れ て い る こ と	る 安 心 が 整 備 さ れ て い る こ と	食 の 安 全 が 確 保 さ れ て い る こ と	整 つ て い る こ と	め る 機 会 が あ る こ と	運 動 や ス ポ ー ツ に 親 し む こ と	騒 音 な ど の 公 害 が あ る こ と	大 気 汚 染 、 水 質 汚 濁 、 騒 音 な ど の 公 害 が あ る こ と	安 全 な 交 通 事 故 が あ る こ と
全 体 (n=1,382)	① 65.4	② 44.9	③ 44.1	④ 42.2	⑤ 41.4	⑥ 39.2	⑦ 39.0	⑧ 30.9	⑨ 28.4	⑩ 27.4	⑬ 21.9					
男 性 (n= 578)	① 65.7	④ 43.3	② 43.8	③ 43.6	⑤ 42.2											
女 性 (n= 712)	① 65.4	② 46.6	③ 45.5	⑤ 41.2	④ 41.6											
男 性 18～19歳 (n= 3)	① 66.7	① 66.7			① 66.7			① 66.7								
20歳代 (n= 33)	① 66.7		④ 48.5		② 60.6		⑤ 42.4	③ 57.6	⑤ 42.4		⑤ 42.4					
30歳代 (n= 80)	① 68.8	② 51.3	② 51.3		④ 45.0		⑤ 43.8									
40歳代 (n= 110)	① 69.1	② 59.1	③ 55.5			⑤ 49.1	④ 52.7									
50歳代 (n= 125)	① 60.8	② 38.4	④ 36.8	⑤ 34.4			② 38.4			⑤ 34.4						
60歳代 (n= 121)	① 66.9	③ 38.8		② 51.2	⑤ 37.2		③ 38.8									
70～74歳 (n= 48)	① 72.9		② 52.1	② 52.1		④ 47.9	⑤ 39.6	⑤ 39.6								
75歳以上 (n= 58)	① 56.9		⑤ 37.9	② 53.4	③ 50.0	④ 41.4										
女 性 18～19歳 (n= 2)	③ 50.0	① 100.0		③ 50.0	③ 50.0	① 100.0		③ 50.0			③ 50.0					
20歳代 (n= 55)	① 60.0	⑤ 41.8	③ 49.1	⑤ 41.8	④ 47.3		⑤ 41.8	② 50.9								
30歳代 (n= 125)	① 64.8	② 49.6	③ 46.4	④ 42.4			④ 42.4									
40歳代 (n= 202)	① 68.3	③ 45.5	② 47.0			⑤ 41.1	④ 43.6									
50歳代 (n= 98)	① 69.4	② 49.0	③ 48.0	④ 42.9	⑤ 41.8											
60歳代 (n= 116)	① 60.3	② 40.5	⑤ 37.9	④ 38.8	② 40.5											
70～74歳 (n= 46)	① 71.7	③ 58.7	④ 54.3	⑤ 52.2		② 60.9										
75歳以上 (n= 65)	① 64.6	③ 47.7	⑤ 41.5	② 50.8	④ 46.2											

※各項目の性・年代別の状況については、図表D（169～180ページ）を参照

《満たされていない》の上位5項目について性・年代別にみると、サンプル数の少ない男女の18～19歳を除くと、県全体で《満たされていない》の第1位となった「(42) 地域の人々の交流の場となるような、にぎわいのある商店街が身近にあること」は、男性の50歳代（40.8%）・70～74歳（39.6%）・75歳以上（34.5%）と女性の50歳代（45.9%）・70～74歳（34.8%）で同率も含めて第1位となった。県全体で第2位の「(38) 自由な時間や休日が多く、ゆとりある生活ができること」は、男性の20歳代（42.4%）・30歳代（52.5%）と女性の20歳代～40歳代（39.6%～50.9%）で第1位となった。県全体で第3位の「(11) 高齢者や障がい者がくらしやすい住宅の整備やまちづくりがされていること」は、男性の75歳以上（34.5%）と女性の60歳代（42.2%）で第1位となった。県全体で第5位の「(47) 道路の渋滞がないなど、自動車県内各地へスムーズに移動できること」は、男性の40歳代（50.0%）・50歳代（40.8%）で第1位となった。県全体で第18位の「(21) 品質の良い商品を安く買ったり、良質なサービスを低価格で受けられること」は、女性の75歳以上（36.9%）で第1位となった。（図表3-2-7）

図表3-2-7 生活満足度《満たされていない》の上位5項目－性・年代別

(番号) 設問	(42)	(38)	(11)	(32)	(47)	(2)	(9)	(3)	(1)	(10)	(37)	(34)	(33)	(30)	(8)	(24)	(21)	(19)	(13)	(15)	(36)	(43)	(22)	(48)	
性・年代																									
上段：順位																									
下段：(%)																									
全 体 (n=1,382)	① 40.9	② 35.0	③ 34.7	④ 33.9	⑤ 31.8	⑥ 31.7	⑦ 31.5	⑧ 30.7	⑨ 30.5	⑩ 30.2	⑪ 30.1	⑫ 30.0	⑬ 28.5	⑭ 28.4	⑮ 28.1	⑯ 27.4	⑰ 27.1	⑱ 26.8	⑲ 26.3	㉑ 26.1	㉒ 25.5	㉓ 24.3	㉔ 20.3	㉕ 18.5	
男 性 (n= 578)	① 43.1	③ 37.5	④ 36.3	⑤ 35.6	② 39.4																				
女 性 (n= 712)	① 38.2	② 34.0	③ 33.0	④ 31.7					⑤ 30.9																
男性18～19歳 (n= 3)	③ 33.3	① 66.7	③ 33.3			③ 33.3	③ 33.3	③ 33.3			③ 33.3	③ 33.3		③ 33.3	③ 33.3	③ 33.3	③ 33.3	③ 33.3	③ 33.3	③ 33.3	③ 33.3		③ 33.3	③ 33.3	
20歳代 (n= 33)	② 36.4	① 42.4		④ 27.3								② 36.4		④ 27.3								④ 27.3	④ 27.3		
30歳代 (n= 80)	② 48.8	① 52.5		④ 46.3	② 48.8																				
40歳代 (n= 110)	② 48.2	③ 44.5		① 50.0			④ 38.2					④ 38.2													
50歳代 (n= 125)	① 40.8		③ 37.6	⑤ 33.6	① 40.8			⑤ 33.6				④ 35.2		⑤ 33.6			⑤ 33.6								
60歳代 (n= 121)	② 44.6					① 54.5	④ 42.1	④ 44.6											④ 42.1						
70～74歳 (n= 48)	① 39.6		② 37.5	③ 35.4					③ 35.4										③ 35.4						
75歳以上 (n= 58)	① 34.5		① 34.5		⑤ 29.3			⑤ 29.3				① 34.5								④ 31.0					
女性18～19歳 (n= 2)	② 50.0			② 50.0	② 50.0			② 50.0						② 50.0	② 50.0	① 100.0	② 50.0						② 50.0		
20歳代 (n= 55)	③ 41.8	① 50.9		④ 36.4			② 43.6								④ 36.4										
30歳代 (n= 125)	④ 38.4	① 44.0		③ 39.2	⑤ 36.0				② 40.8																
40歳代 (n= 202)	② 37.1	① 39.6		④ 34.7												③ 35.1					⑤ 34.2				
50歳代 (n= 98)	① 45.9	② 35.7	② 35.7		⑤ 33.7	⑤ 33.7			⑤ 33.7			④ 34.7										⑤ 33.7			
60歳代 (n= 116)	② 39.7		① 42.2	③ 32.8		⑤ 29.3	③ 32.8								⑤ 29.3					⑤ 29.3					
70～74歳 (n= 46)	① 34.8		② 32.6			⑤ 30.4																	② 32.6	② 32.6	
75歳以上 (n= 65)	③ 26.2		③ 26.2	③ 26.2				② 27.7									① 36.9						③ 26.2		

※各項目の性・年代別の状況については、図表D（169～180ページ）を参照